

市が運営する地域公共交通の運行見直しについて

1. 「振り返り」及び「基本的な考え方」

【前回協議会でのご意見】

- タクシークーポン制度の導入について、所得制限を設けるなど対象者を絞ることで、財政負担を減らす方法も含めて、もう少し可能性を探ってほしい。
- タクシークーポン制度の対象とする年齢については、デマンド交通に頼らずとも生活できる人は除外する意味も含め、下限を60歳とするのではなく、より対象を引き上げる余地もあるのではないか。また、0～6歳の子どもは、両親が自家用車で外出させていると思われるので、必要性は低いのではないか。
- タクシークーポンについては、タクシーの初乗り運賃に相当する690円を全額補填するのではなく、300円程度にすることも考えられる。

上記のご意見をふまえ、タクシークーポン制度の対象とする所得や年齢の見直しを行い、改めて財政負担の見込み、市としての実現可能性を精査した。

なお、財政部局との議論も踏まえ、持続可能性の観点から、財政負担額は現状（令和元年度実績：年間7,661万円）をベースとしつつ、香芝市地域公共交通計画が目指す「誰もが快適におでかけできる」のため、過度にならない負担増を許容するものとして、運行見直しを行うこととする。

[現状]

コミュニティバス3台 + デマンド交通8台 = 7,661万円（市負担額）

		(円)		
		事業費 (a)	収入 (b)	市負担額 (c)=(a)-(b)
R1 運行経費決算額		90,567,493	13,955,480	76,612,013
内訳	コミュニティバス_3台(4名)	41,867,007	5,721,380	36,145,627
	デマンド交通_8台	48,700,486	8,234,100	40,466,386

※消費税_8%（～R1.9.30）・10%（R1.10.1～）

2. 運行見直し（案）の例示

現状経費に新車購入費を足した額を基本とした、コミュニティバス・デマンド交通・タクシークーポンの組み合わせのパターン例における市負担額を提示する。

[Aパターン] コミュニティバス + デマンド交通

	市負担額(円)	備考
コミュニティバス	5,374万円	4台(1台あたり負担額 約1,344万円)
デマンド交通	3,957万円	8台(1台あたり負担額 約495万円)
計	9,331万円	現状比：+1,670万円

※ コミュニティバスの想定経費は、令和元年度決算額を基にし、消費税増額分、人件費高騰分及び新車購入費用の約480万円（マイクロ2台・ワゴン4台＝約4,800万を10年間で償却した額）を含んだものとした。また、収入は、「地域公共交通計画(案)」「目標(案)」「現状と目標値」の利用者の平均値(63,192人)に「中学生以上150円・小学生100円」を乗じた数とした。

※ デマンド交通の想定経費は、令和元年度決算額及び令和4年度見積額を基にし、試算（消費税増額、人件費高騰分を含む）した。収入は、令和元年度利用者数(43,478人)に「中学生以上400円・小学生200円」を乗じた数とした。

(特徴)

- + 【市民】 全ての市民が誰でも利用できる。
- + 【市民】 利用に応じて、コミュニティバスとデマンド交通を使い分けることができる。
- + 【市民】 定着したサービスとして、利用が継続しやすい。
- 【市民】 移動できる範囲が市内に限定される。
- 【事業者】 安価なデマンド交通によって、タクシー利用が抑制される可能性がある。

[Bパターン] コミュニティバス + タクシークーポン + デマンド交通

① コミュニティバス4台 + タクシークーポン 70歳以上 + デマンド交通3台

	市負担額(円)	備考
コミュニティバス	5,374万円	4台(1台あたり負担額 約1,344万円)
タクシークーポン	2,726万円 ～1億5,903万円	・初乗り(690円)のクーポン24枚を補助する ・配布対象を「70歳以上・合計所得100万円未満(9,362人)」とし、年間3.6回～24回利用した場合の試算値
デマンド交通	1,508万円	3台(1台あたり負担額 約503万円) ※9,331万円[Aパターン]から(コミュニティバス+タクシークーポンの下限額)を差引いた額の近似値
計	9,607万円 ～2億2,785万円	現状比: +1,946万円～1億5,124万円

② コミュニティバス4台 + タクシークーポン 75歳以上 + デマンド交通4台

	市負担額(円)	備考
コミュニティバス	5,374万円	4台(1台あたり負担額 約1,344万円)
タクシークーポン	1,921万円 ～1億541万円	・初乗り(690円)のクーポン24枚を補助する ・配布対象を「75歳以上・合計所得100万円未満(6,124人)」とし、年間3.6回～24回利用した場合の試算値
デマンド交通	2,004万円	4台(1台あたり負担額 約501万円) ※9,331万円[Aパターン]から(コミュニティバス+タクシークーポンの下限額)を差引いた額の近似値
計	9,299万円 ～1億7,920万円	現状比: +1,638万円～1億258万円

※ コミュニティバスの想定経費は、令和元年度決算額を基にし、消費税増額分、人件費高騰分及び新車購入費用の約480万円(マイクロ2台・ワゴン4台=約4,800万を10年間で償却した額)を含んだものとした。また、収入は、「地域公共交通計画(案)」「目標(案)」「現状と目標値」の利用者の平均値(63,192人)に「中学生以上150円・小学生100円」を乗じた数とした。

※ タクシークーポンの経費には、事務処理400万円程度(人件費、印刷費等)を含む

※ タクシークーポンの利用については、他市の1人あたりの平均利用枚数(3.6枚)を下限、西大和交通圏の民間タクシー輸送人員(H30)と総人口の比から試算した枚数(24回)を上限として試算した。

※ デマンド交通の想定経費は、令和元年度決算額及び令和4年度見積額を基にし、試算(消費税増額、人件費高騰分を含む)した。収入は、令和元年度利用者数(43,478人)に「中学生以上400円・小学生200円」を乗じた数とした。

(特徴)

《B～Dパターン共通》

- + 【市民】 タクシークーポンにより、市外の利用も含めて、市の支援(補助)が受けられる。
- + 【事業者】 タクシー利用が促進され、利用に応じた収益が得られる。
- 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けられる人が限定される。(年齢制限・所得制限)
- 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けた場合でも、利用者の費用負担が増加する。(初乗り距離以内では負担はないが、デマンド交通と比較した場合、利用者負担は増す)
- 【市民】 対象者でも最大、年間24回(月1往復程度)以下に利用が制限される。

《Bパターンのみ》

- 【市民】 デマンド交通の運行台数が、現状の8台から3台もしくは4台になり、補助の対象から外れる人の移動手段が制限される。

《B・Cパターンのみ》

- 【行政】 市の財政負担が多くなる。

[Cパターン] コミュニティバス + タクシークーポン (デマンド交通なし)

① コミュニティバス4台 + タクシークーポン 70歳以上

	市負担額(円)	備考
コミュニティバス	5,374 万円	4台(1台あたり負担額 約1,344万円)
タクシークーポン	2,726 万円 ～1億 5,903 万円	・初乗り(690円)のクーポン24枚を補助する ・配布対象を「70歳以上・合計所得100万円未満(9,362人)」とし、年間3.6回～24回利用した場合の試算値
計	8,100 万円 ～2億 1,278 万円	現状比：+438万円～1億 3,616万円

② コミュニティバス4台 + タクシークーポン 75歳以上

	市負担額(円)	備考
コミュニティバス	5,374 万円	4台(1台あたり負担額 約1,344万円)
タクシークーポン	1,921 万円 ～1億 541 万円	・初乗り(690円)のクーポン24枚を補助する ・配布対象を「75歳以上・合計所得100万円未満(6,124人)」とし、年間3.6回～24回利用した場合の試算値
計	7,295 万円 ～1億 5,916 万円	現状比：-366万円～+8,254万円

※ コミュニティバスの想定経費は、令和元年度決算額を基にし、消費税増額分、人件費高騰分及び新車購入費用の約480万円(マイクロ2台・ワゴン4台=約4,800万を10年間で償却した額)を含んだものとした。また、収入は、「地域公共交通計画(案)」「目標(案)」「現状と目標値」の利用者の平均値(63,192人)に「中学生以上150円・小学生100円」を乗じた数とした。

※ タクシークーポンの経費には、事務処理400万円程度(人件費、印刷費等)を含む

※ タクシークーポンの利用については、他市の1人あたりの平均利用枚数(3.6枚)を下限、西大和交通圏の民間タクシー輸送人員(H30)と総人口の比から試算した枚数(24回)を上限として試算した。

(特徴)

《B～Dパターン共通》

- + 【市民】 タクシークーポンにより、市外の利用も含めて、市の支援(補助)が受けられる。
- + 【事業者】 タクシー利用が促進され、利用に応じた収益が得られる。
- 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けられる人が限定される。(年齢制限・所得制限)
- 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けた場合でも、利用者の費用負担が増加する。(初乗り距離以内では負担はないが、デマンド交通と比較した場合、利用者負担は増す)
- 【市民】 対象者でも最大、年間24回(月1往復程度)以下に利用が制限される。

《Cパターンのみ》

- 【市民】 デマンド交通が廃止され、補助の対象から外れる人の移動手段の選択肢が減少する。

《B・Cパターンのみ》

- 【行政】 市の財政負担が多くなる。

[Dパターン] タクシークーポンのみ（コミュニティバス・デマンド交通なし）

① タクシークーポン 70歳以上

	市負担額(円)	備考
タクシークーポン	2,726 万円 ～1 億 5,903 万円	・初乗り(690 円)のクーポン24 枚を補助する ・配布対象を「70 歳以上・合計所得 100 万円未満(9,362 人)」とし、年間 3.6 回～24 回利用した場合の試算値
計	2,726 万円 ～1 億 5,903 万円	現状比：-4,936 万円～+8,242 万円

② タクシークーポン 75歳以上

	市負担額(円)	備考
タクシークーポン	1,921 万円 ～1 億 541 万円	・初乗り(690 円)のクーポン24 枚を補助する ・配布対象を「75 歳以上・合計所得 100 万円未満(6,124 人)」とし、年間 3.6 回～24 回利用した場合の試算値
計	1,921 万円 ～1 億 541 万円	現状比：-5,740 万円～+2,880 万円

※ タクシークーポンの経費には、事務処理 400 万円程度（人件費、印刷費等）を含む

※ タクシークーポンの利用については、他市の 1 人あたりの平均利用枚数(3.6 枚)を下限、西大和交通圏の民間タクシー輸送人員(H30)と総人口の比から試算した枚数(24 回)を上限として試算した。

(特徴)

《B～D パターン共通》

- + 【市民】 タクシークーポンにより、市外の利用も含めて、市の支援（補助）が受けられる。
- + 【事業者】 タクシー利用が促進され、利用に応じた収益が得られる。
- 【市民】 補助（タクシークーポン）を受けられる人が限定される。（年齢制限・所得制限）
- 【市民】 補助（タクシークーポン）を受けた場合でも、利用者の費用負担が増加する。（初乗り距離以内では負担はないが、デマンド交通と比較した場合、利用者負担は増す）
- 【市民】 対象者でも最大、年間 24 回（月 1 往復程度）以下に利用が制限される。

《Dパターンのみ》

- 【市民】 コミュニティバス・デマンド交通が廃止され、補助の対象から外れる人の安価な移動手段がなくなる。
- 【行政】 利用状況により、負担額の大小の差が大きく、運営見込みが立てづらい。

<一覧>

パターン	特徴
現状 市負担額：7,661万円	-----
[Aパターン] コミュニティバス4台(マイクロ1台・ワゴン3台) + デマンド交通8台 市負担額：9,331万円	<ul style="list-style-type: none"> + 【市民】 全ての市民が誰でも利用できる。 + 【市民】 利用に応じて、コミュニティバスとデマンド交通を使い分けることができる。 + 【市民】 定着したサービスとして、利用が継続しやすい。 - 【市民】 移動できる範囲が市内に限定される。 - 【事業者】 安価なデマンド交通によって、タクシー利用が抑制される可能性がある。
[Bパターン] コミュニティバス4台(マイクロ1台・ワゴン3台) + タクシークーポン + デマンド交通3～4台 市負担額：9,607万円～2億2,785万円 (タクシークーポン：70歳以上・合計所得100万円未満) 9,299万円～1億7,920万円 (タクシークーポン：75歳以上・合計所得100万円未満)	<ul style="list-style-type: none"> + 【市民】 タクシークーポンにより、市外の利用も含めて、市の支援(補助)が受けられる。 + 【事業者】 タクシー利用が促進され、利用に応じた収益が得られる。 - 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けられる人が限定される。(年齢制限・所得制限) - 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けた場合でも、利用者の費用負担が増加する。(初乗り距離以内では負担はないが、デマンド交通と比較した場合、利用者負担は増す) - 【市民】 対象者でも最大、年間24回(月1往復程度)以下に利用が制限される。 - 【市民】 デマンド交通の運行台数が、現状の8台から3台もしくは4台になり、補助の対象から外れる人の移動手段が制限される。 - 【行政】 市の財政負担が多くなる。
[Cパターン] コミュニティバス4台(マイクロ1台・ワゴン3台) + タクシークーポン(デマンド交通なし) 市負担額：8,100万円～2億1,278万円 (タクシークーポン：70歳以上・合計所得100万円未満) 7,295万円～1億5,916万円 (タクシークーポン：75歳以上・合計所得100万円未満)	<ul style="list-style-type: none"> + 【市民】 タクシークーポンにより、市外の利用も含めて、市の支援(補助)が受けられる。 + 【事業者】 タクシー利用が促進され、利用に応じた収益が得られる。 - 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けられる人が限定される。(年齢制限・所得制限) - 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けた場合でも、利用者の費用負担が増加する。(初乗り距離以内では負担はないが、デマンド交通と比較した場合、利用者負担は増す) - 【市民】 対象者でも最大、年間24回(月1往復程度)以下に利用が制限される。 - 【市民】 デマンド交通が廃止され、補助の対象から外れる人の移動手段の選択肢が減少する。 - 【行政】 市の財政負担が多くなる。
[Dパターン] タクシークーポンのみ (コミュニティバス・デマンド交通なし) 市負担額：2,726万円～1億5,903万円 (タクシークーポン：70歳以上・合計所得100万円未満) 1,921万円～1億541万円 (タクシークーポン：75歳以上・合計所得100万円未満)	<ul style="list-style-type: none"> + 【市民】 タクシークーポンにより、市外の利用も含めて、市の支援(補助)が受けられる。 + 【事業者】 タクシー利用が促進され、利用に応じた収益が得られる。 - 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けられる人が限定される。(年齢制限・所得制限) - 【市民】 補助(タクシークーポン)を受けた場合でも、利用者の費用負担が増加する。(初乗り距離以内では負担はないが、デマンド交通と比較した場合、利用者負担は増す) - 【市民】 対象者でも最大、年間24回(月1往復程度)以下に利用が制限される。 - 【市民】 コミュニティバス・デマンド交通が廃止され、補助の対象から外れる人の安価な移動手段がなくなる。 - 【行政】 利用状況により、負担額の大小の差が大きく、運営見込みが立てづらい。

※タクシークーポンは、特別交付税の算定対象外となります。

【参考】

(1) デマンド交通の台数別想定経費(年間)

(円)

	事業費	収入	市負担額
8台運行	56,033,790	16,468,200	39,565,590
7台運行	49,141,484	14,409,675	34,731,809
6台運行	42,217,203	12,351,150	29,866,053
5台運行	34,960,944	10,292,625	24,668,319
4台運行	28,272,708	8,234,100	20,038,608
3台運行	21,252,496	6,175,575	15,076,921
2台運行	14,200,308	4,117,050	10,083,258
1台運行	7,116,142	2,058,525	5,057,617

(2) 合計所得金額区分ごとの年齢別人口(R2.11.30時点)

	総人口(人)	65歳以上(人)	70歳以上(人)	75歳以上(人)
0円以上100万円未満	47,069	11,939	9,362	6,124
100万円以上200万円未満	9,630	3,722	2,846	1,879
200万円以上	22,695	2,569	1,589	909
計	79,394	18,230	13,797	8,912

資料提供：香芝市税務課

(参考)

- ・合計所得100万円未満の目安(年間の公的年金等の収入金額(65歳以上の場合)が210万円未満の方)

(3) 特別交付税算定基礎数値(令和2年度当初)

78,476千円(コミュニティバス39,108千円、デマンド交通39,368千円)